

氏名	辻本 健	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	小児看護学				
学位	修士（看護学）				
学歴	自治医科大学大学院看護学研究科				
経歴	2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教				
所属学会（役職）	日本小児がん看護学会、日本小児看護学会、日本小児保健協会、日本看護科学学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	新保育ライブラリ 子どもの保健 第4章4節	単著	あり	北大路書房、P173 第4章4節、P125-138	加藤則子、布施晴美、鈴木裕美、 市川香織、櫻井育穂、 <u>辻本健</u> 、望月浩江 第4章4節担当辻本	2020.12
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	小児がん患児への告知における看護実践の特徴ーテキストマイニングによる自由記述分析の解析からー	共同	日本看護科学学会学術集会、オンライン		○ <u>辻本健</u> 、横山由美	2020.12
2	入院中の子どものセルフケア能力・親のケア能力の向上に関連する尺度の開発	共同	日本小児看護学会、オンライン		○長谷美智子、櫻井育穂、 <u>辻本健</u> 、瀧田浩平、添田啓子、中田尚子	2020.9
3	オレムセルフケア不足理論を取り入れた看護記録監査結果から捉えた看護過程の課題	共同	日本小児看護学会、オンライン		○中田尚子、沖田淳也、黒田京子、田村佳士枝、添田啓子、櫻井育穂、望月浩江、 <u>辻本健</u> 、瀧田浩平、古谷佳由理	2020.9
4	オレムセルフケア不足理論を取り入れた組織的教育介入の効果ー事例検討会により看護師が認識した実践の変化	共同	日本小児看護学会、オンライン		○添田啓子、望月浩江、田村佳士枝、櫻井育穂、 <u>辻本健</u> 、瀧田浩平、古谷佳由理、中田尚子、株崎雅子、近藤美和子、黒田京子	2020.9
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究	退院後の小児がん患児をもつ両親のレジリエンスの概念構築		研究代表者	2019.4~2022.3	
2	特別研究助成	維持療法の期間における急性リンパ性白血病の患児の療養生活に関わる親の体験の概念構築		研究代表者	2020.11~2022.3	
3	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)	子どものセルフケア、親のケア能力獲得を支援する看護師の教育指導力の定着・評価		研究分担者	2019.4~2022.3	

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	小児看護学Ⅰ		0	講義担当補助として参加した。オンライン授業に伴う準備・設定、レポート評価やワークシート・レスポンスカードのコメントを行い教育に参画した。
2	小児看護学Ⅱ		1	血液腫瘍疾患をもつ子どもと家族の看護を担当した。主な血液腫瘍疾患の症状、観察ポイント、治療方法、子どもと家族への看護の必要性や方法を理解できるよう動画や紙芝居、絵本を用いてイメージできるようオンラインでの講義を行った。
3	看護学入門		6	看護学科の特徴(小児看護学)、グループワークに関する講義を担当した。看護学科の特徴では、埼玉県立大学で学ぶ小児看護学の楽しさややりがい、オレム理論について図を示しながら講義を行った。グループワークでは、スムーズなグループワークが出来るよう参画した。レポート評価やワークシート・レスポンスカードのコメントを行い教育に参画した。
4	子どもの保健		2	良くみられる子どもの症状への理解と対応、病気をもつ子どもと家族に関する講義を担当した。動画や絵本を用いて学生がイメージしやすいように講義を行った。レポート評価やワークシート・レスポンスカードのコメントを行い教育に参画した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	小児看護学Ⅲ		15	3グループ(学生22名)を担当し、グループ討議、学習を通し、学生が川崎病・口唇口蓋裂を発症した子どもと家族の看護の必要性・方向性をグループ討議の中から見出せるように支援を行った。
2	小児看護学Ⅳ		0	講義担当補助として参加した。オンライン授業に伴う準備・設定、レポート評価やワークシート・レスポンスカードのコメントを行い教育に参画した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	小児看護学実習		2020.11.2～ 12.11 (2単位90時間 ×3クール)	学生18名を担当し、オンラインでの事例展開を通して、子どもの安全を意識し、学生が小児看護学の目的目標に沿った看護を展開できるよう、臨床指導者と連携を図りながら指導を行った。
2	総合実習		2020.7.13～7.31 (4単位 180時間)	学生4名を担当し、実習前の事前ゼミにおいて、学生個々が探求したい課題を明確にし、総合実習計画書を作成できるよう指導した。オンラインでの事例展開をした後、総合実習計画書をもとにOSCEを行った。個々の学生が課題とする看護を実施し、看護の効果を確認できるように臨床指導者と連携を図りながら支援を行った。
3	IPW実習		2020.10.5～10.8 (16コマ)	学生6名を担当し、円滑に実習が進むように調整を行い、指導した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4～2021.1	主指導 2名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	オレム推進連絡会議	埼玉県立大学	オレムの視点でのカンファレンス実施状況と実施計画/ 結果と課題 / 振り返り	2020.4～2021.3
2	特定講座	埼玉県立大学	「健康寿命・意欲(メンタル)と家事の関係」についての論文(先行研究)調査	2020.12～2021.3

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	日本小児看護学会第31回学術集会	企画委員会・会計	2021.12	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	男女共同参画推進委員会（委員会活動の広報）		2020.4～2021.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				